

# 切手+風景印+マンホールカードのベストマッチング

伊東 弘章

収集仲間の伝手で天童市のマンホールカード（第3弾2016年12月1日）を今春に入手。当マンホール蓋は紅葉と将棋の駒がデザインされている。テーマ「下向いて歩こう」リーフ用のマ



テリアルカードを作るにあたり、このマンホールにマッチする切手は？とカタログを調べると紅葉の切手は多種多様に有る。天童市は将棋駒づくり日本一の産地として有名である。ということで、紅葉切手では面白味がないなあ～、ページをめくると1994



国際文通週間〈将棋〉 1994



種のひとつに〈将棋〉があり将棋に興じている切手が見つかる。だが当切手の手持は無く、紅葉切手を台切手として天童局の風景印でマッチ



日本の伝統・文化シリーズ第2集 2019

させよう。でも押印日は紅葉の季節としたい。郵頼の秋までに“将棋”切手の入手叶えばグッドだが…と言いながらいつの間にか時は経過。夏場に入り、郵便情報で10月2日発売、「日本の伝統・文化シリーズ第2集」に〈将棋の駒〉切手が含まれていた。これ！これ！ 待っていた甲斐があった。

これで切手とマンホールが揃う。次はこれにマッチする天童市内の郵便局風景印である。

風景印集で見ると天童市内の4郵便局に将棋駒を意匠した風景印がある。



天童局



天童北久野本局



天童五日町局



干布局

ぱっと見た目で、天童局印が温泉入湯の図も良しでやはり本命…か。待てよ、将棋駒形切手に対して将棋駒変形印の風景印の組み合わせも面白そうだ。駒二つの変形印の干布（ほしぬの）局印にも惹かれるものがあったが、サクランボ図が柿にも見えて局名が干柿（ほしがき）局と読める気もするし、人間将棋・王将の意匠と駒変形デザインの天童五日町局風景印で…と決める。